

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2026年3月31日	評価番号	A-365
評価技術名称					連絡先			
部分開口 構造用合板補強工法					http://www.			
真壁「押入」アルミ材下地					〒		電話	
					Fax			
概要	技術概要				床、天井間のみをアルミアンクルと構造用合板で補強する工法。			
	技術の特徴				コスト		サンプル構面	
	<ul style="list-style-type: none"> 土壁・天井・床・中段・枕棚/天袋を解体することなく真壁や入隅に施工が可能。 真壁の仕上がりで補強が可能 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能。 				46,219 円/kN		設計見積り例	
	公的機関による技術評価・性能証明 機関名 評価番号 評価取得日				実験実施機関 名古屋工業大学 その他			
仕様	適用範囲				写真・図			
	構法	木造在来軸組工法			<p>部分開口 $a+b \leq 370\text{mm}$ $c+d \leq 400\text{mm}$ それぞれの構造用合板 高さ 400mm 以上</p> <p>アルミアンクル納まり図 ○</p> <p>柱 土壁 構造用合板 アルミアンクル 木ビスは斜め</p> <p>悪い納まり例 ×</p> <p>柱 土壁 木ビスはアルミアンクル短辺の中央付近に打たず、なるべくコーナー付近に打つ</p> <p>600 ≤ W ≤ 1000 真壁 押入</p> <p>天井ライン</p> <p>アルミ不等辺アンクル 9×40 t=1.5 またはこれ以上</p> <p>木ビス (コーススレッド) (3.8×32) 先孔 φ3 斜め打ち @100 以下</p> <p>構造用合板 t=9mm</p> <p>構造用合板が浮く場合は、アルミアンクルに先孔を用いる</p>			
	規模	3階建て以下						
	基礎、地盤	特になし						
	適用部位	内外壁						
	その他	特になし						
	主要構成部材の仕様							
	構造用合板 厚 9mm 以上 タッピングビス φ3×L30、木ビス(コーススレッド) φ3.8×L32、セルフドリルネジ φ4×L30 のいずれか @100mm 以下、川の字打ち アルミ不等辺アンクル 9×40 t=1.5 またはこれ以上のサイズのもの JIS H4100 の A6063-T5 材(アルミ建築構造設計基準で AS110 材)またはこれと同等の強度を有するもの 木ビス(コーススレッド) φ3.8×L32、先孔 φ3 アンクル角部を斜め打ち、@100mm 以下							
	耐震性能							
	評価仕様: アルミアンクル下地 真壁仕様							
壁基準耐力		壁基準剛性						
1.56kN/m		219kN/rad/m						
A-111 からの低減係数 α = 0.3								
壁基準耐力 5.2 × 0.3 = 1.56								
設計方法								
① 柱接合部による低減								
取付部分が健全であること								
② 劣化による低減								
取付部分が健全であること								
施工者指定								
特になし								
その他								
H28 年度 ビスの種類追加								